

いい声 いい顔 いい心

検証、続々実践

校内研修の授業研が続きますね。実践が続き、私たちの学びになっています。授業提供して下さる先生、本当にありがとうございます。授業づくりに携わる先生方ありがとうございます。自分は研究授業の際は、前方から参観することが多いです。(子供の表情や様子を一番見たいから)子供たちの頑張っている姿はいいものです。また、先生の個性が授業にも出ますよね。見ていて楽しいです。「先生方の授業を見て、〇〇をやってみた」「授業力が向上した気がする」など、自分の実践化や意識の向上が見られたらといいですね。



【2-3】授業者：松田先生



【3-4】授業者：西岡先生



【6-3】授業者：下田先生

市長あいさつ運動

9月15日(木)に早田市長、市教委、オムロンハンドボールチームが来校されての「あいさつ運動」には、先生方のご協力、子供への指導ありがとうございます。市長も目を細めて笑顔で山小の子供たちを見守っておられましたね。山小からあいさつの輪が広がっていくように、今後とも指導をお願いします。特に、子供たちが下校時や室内でのあいさつが自然な感じでできるようになると素晴らしいですね。



早田市長へ元気なあいさつ

環境整備

まだ、1学期の掲示物が貼ってあったり、私物が教室においてあったりするのを見かけます。先日の職員会議で、学校訪問が徐々に近づいてきていることを意識させられたことでしょう。チェックリストも提示してあったので、担当箇所の環境整備を計画的に進めてください。

～ティータイム～

「特別授業」

「いやー、うきうきが止まりませんなあ。」先週の3日間はうかれていた。6年生で社会の特別授業をさせてもらうからだ。秀吉の政治(検地・刀狩)に熊本、特に山鹿が関係していることを学び、「歴史って面白いな」と感じてもらいたかった。資料を見せると「えーっ」とか「あ～」と好反応する6年生を目の当たりにし、ますます調子に乗る授業者。とにかく楽しかった。1時間くださった3人の先生方に感謝!!つきあってくれた6年生もありがとう。「特別授業が楽しかった」と書いている子供の日記を、中井先生が見せてくださった。その子にはA評価をあげたい気分だ。

ちょっと心配なのは、肝心な本時の学習も、最後に話した「どうでもいい話」(歴史ウラ話)にかき消されて、子供の頭に残っていないのではないかとということだ。まあ、歴史への関心が高まったということで、これはこれでうれしい。

PS:6-2には、以前も自習監督で「どうでもいい話」を話したことがあった。Kさんはそれを覚えていたのか、授業前に期待を込めて私に言った。「先生、今日も『ためにならない話』してくれるんですか?」・・・爆笑した。「どうでもいい話」と「ためにならない話」・・・ニュアンスは似ているけど、一応、『どうでもいい話』で売り出している。

